



メニューカードなどの活用(2020年)。



クリスマスリースバッジ募金(ユニセフ)。



マイ箸・マイボトルの持参を推進。

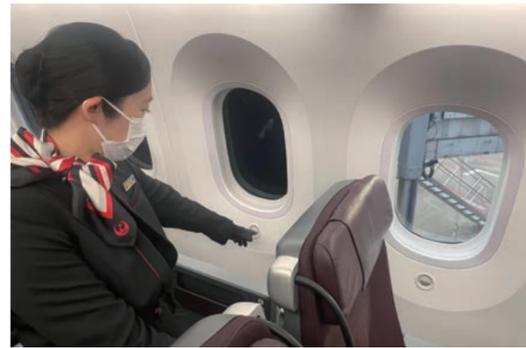
ショッピングバッグが  
不要なお客さまは  
お声掛けください。



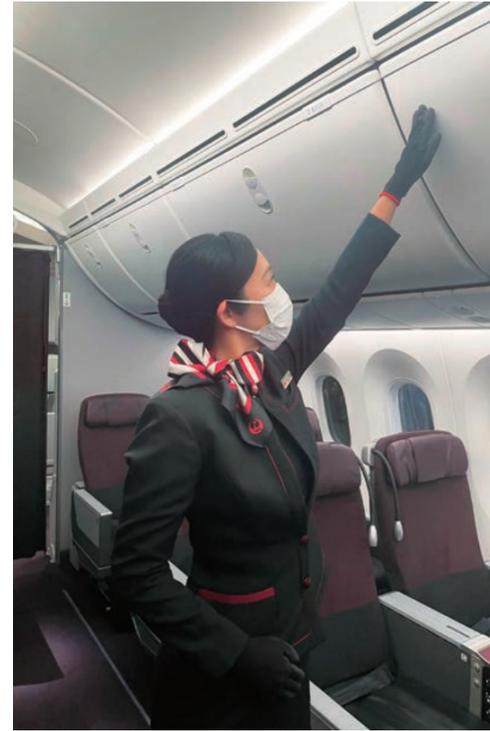
使い残した  
外国通貨を  
ユニセフに  
募金できます。



ユニセフロゴを掲出した機体。



シェードを活用した機内の温度調整。



ウレタンコーティング手袋の着用。



高校模擬国連国際大会報告会での特別企画。

明日の空へ SDGs — JALの取り組み — 第105回  
私たちにできること — 客室本部の取り組み

JALグループの各所で  
行われているSDGsの取り組み。  
今回は客室乗務員が所属している  
客室本部の取り組みをご紹介します。



できることから着実に

機内でサービスや保安業務  
を担う客室乗務員、その手元  
が変化していることにお気付  
きでしょうか。

新型コロナウイルスの感染  
拡大以降、客室乗務員は使い  
捨ての透明手袋を着用し、業  
務に当たってまいりました。

しかしこの手袋、プラスチ  
ックごみを大量に発生させる  
ことや、アルコールスプレー  
への耐久性などが課題でした。

現在機内では、多くの乗務員  
がウレタンコーティングされ  
た黒い手袋を併用しています。  
今夏から導入された、アルコ  
ール消毒が可能で、再使用も  
できる手袋です。衛生面の不  
安解消や、廃棄量の削減につ  
ながりました。

同じくプラスチックごみを  
削減する取り組みとして「使  
い捨てコンタクトレンズの空

ケース回収活  
動」への参加が  
あります。

保安面への配慮から、メガ  
ネではなくコンタクトレンズ  
を着用することが多い客室乗  
務員。使い捨てコンタクトレ  
ンズの使用者も多く、約1年  
で100kg超を回収しまし  
た。集められたケースは再資  
源化され、CO<sub>2</sub>排出量の削  
減につながっています。

ユニセフへの支援

乗務員の左胸元にもご注目  
ください。クリスマスシーズ  
ンになると、クリスマスリー  
ス型のバッジをつけた乗務員  
もいるはずです。

これは30年以上続いている  
国際連合児童基金(ユニセフ)  
への募金の象徴。毎年有志が  
バッジを手作りして集めた募  
金は、世界の子どもの命と健  
康、権利を守るための活

動に活用されています。

また機体にもユニセフのロ  
ゴを掲出するなど、JALは  
さまざまな形で活動を支援し  
ています。

客室本部ではほかにも、シ  
ェード(日よけ)を活用した  
機内の温度調整、マイ箸・マ  
イボトルの推進を行っていま  
す。またコロナ禍当初は、急  
な減便により不要になったメ  
ニューカードや機内誌の有効  
活用にも積極的に取り組ん  
できました。

次世代をサポート

子どもたちの教育にも力を  
入れています。今年6月には  
全国の地域活性化に取り組む  
客室乗務員「JALふるさと  
応援隊」のメンバーが第15期  
「高校模擬国連」日本代表団  
に対して英語によるSDGs  
講義とバーチャルフライトを  
オンラインで実施しました。

「高校模擬国連国際大会」は  
毎年世界中から2000人近  
い高校生がニューヨークに集  
い、各国大使になりきって、  
世界の課題について話し合

お客さまとともに  
未来を守る

さらにお客さまにもご協力  
いただくことで、地球の未来  
を守る活動を行っています。

例えば機内販売で商品を買  
入いただく際、ショッピング  
バッグが不要であることをお  
伝えいただくことで、プラス  
チックごみを削減できます。

国際線では、使い残した外  
国通貨をユニセフに送付する  
外貨募金「Change for good」  
も行っていきます。お気軽にお  
申し付けください。

JALグループはこれから  
も、地球と人々の未来のため  
さまざまなチャレンジを続け  
てまいります。

JALが行う国際協力、寄付、協賛についてはこちら。 <https://www.jal.com/ja/sustainability/community/supports/>



2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。

今回のテーマに該当する目標

